



平成 30 年 8 月 27 日

保育の充実を図るため

育児休業中の保育について保育継続を求める請願書

岩倉市議会議長 黒川 武 殿

請願団体 岩倉市立保育園父母の会連絡会

賛同団体 岩倉市職員組合保育園支部

代表者 小林 麻衣

住所

岩倉市

紹介議員

塚本 秋雄

科谷 規子

木村 冬樹

堀 巖

樽井 伸賢

宮川 隆

鈴木 麻佳

大野 慎治

【請願趣旨】

少子化、核家族化及び地域交流の希薄化が進行する一方で、働く女性が活躍し、就労形態が多様化する社会において、子どもを育てる環境や保育施設の在り方は大きく変化しています。

その中で国は、まち・ひと・しごと創生総合戦略を定め、少子化対策、若い世代の経済的安定、子育て支援や働き方改革を推進しています。

岩倉市においても、第4次岩倉市総合計画及び岩倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、「子育て世代 住みたいまちNO. 1」を基本目標の1つにしています。そして市長のマニフェストでも1つ目の柱として「子育て環境の充実」を掲げていることから、保育施策が非常に重要な位置づけであると認識しています。

子育て世代、特に経済的安定など働かざるを得ない環境にある家庭では、保育施策の充実こそが「住みたいまち」に欠かせない重大な要素の1つです。また、安心して仕事に就けることは、良質な子育て環境に寄与することに繋がります。

育児休業を取得すると、集団保育の対象ではない2歳児未満は、家庭で保育を行うことができるという理由で退園しなければなりません。しかし、現代では核家族化が進み、育児をする母親が周りからのサポートを受けることができない場合も多く、下の子を産むと上の子は退園しなければならないと考え、産み控えが進み、少子化を加速させる要因にもなり得ます。また、短期間で周りの環境が変わってしまうことは、子どもの精神的負担にもつながります。より柔軟で適切な保育の充実を図っていただきたく、次のことについてお願いいたします。

【請願項目】

育児休業中の保育について、2歳児未満の在園児の保育継続を望みます。